

社協

# ふるいち

No. 47  
発行責任者  
松本 晃幸

## 古市地区をはぐくむ会

古市地区にLMOができました



最近、「ひろしまLMO (エルモ)」を耳にすることが多くなりましたが、ご存じでしょうか？簡単に言うと、地域のボランティア団体が集結して、地域を活性化させよう！という取り組みです。

現在でも古市地区には、いろいろなボランティア団体が活動されています。各団体の役員さんが手弁当でがんばっておられますが、課題もあります。役員が高齢となり新たな担い手が見つけられないとか、団体の役

員が少ないので新規のイベントを企画する余裕がないとか。そんな課題を解決するために、各団体が協力して、「古市地区をはぐくむ会」という組織を発足しました。ここには、多くの団体に参加いただきましたので、年齢層も幅広く、得意なことを持ち寄ることで、古市地区をさらに活性化できるところを目指しています。

この「古市地区をはぐくむ会」ですが、発足の経緯を紹介します。きっかけは、2年前の古市ハロウィンウォークです。社協から、子どもが喜ぶイベントを一緒にやりたいけど、企画を考えてくれないか？とPTAや子ども会に提案がありました。多くの団体に協力いただければ、小学校から

飛び出して、古市を広く使ったイベントをやりたい！この思いで、子どもが古市地区を歩き回ってゲームを楽しむイベントが実施できました。今回、LMO発足の検討が始まった時も、2年前の成功があったので、各団体から協力を得ることができました。

次に、「古市地区をはぐくむ会」のネーミングとロゴマークを紹介します。LMOのイベントを通じて、古市小の卒業生が帰ってくる機会を作り、その若者を古市地区のみんなで育て、将来の古市地区を担う人材を増やしたいという思いでネーミングしました。ロゴマークは、古市小のクノキと将来へ橋渡しする虹をモチーフに、おやじの会で作成いただきました。最後に、今後の抱負です。新たに「古市地区をはぐくむ会」を発足しましたが、

まずは従来やってきたことを着実に継続します。その中で、余力ができれば新たなことにも挑戦します。初年度は、①あさマルシエ、②古市ハロウィンウォーク、③緑道公園のペンキ塗り、④炊き出し訓練、を開催していきますので、ご期待ください。



LMO事務室



認定証と一緒に

### 囁鳴春秋

今年の台風は過去の経路とは異なり油断大敵ですよ！（経路以外でも大雨）準備は早めに、報道機関の情報収集が大切です。

①自宅の災害リスクを確認  
行政が発行しているハザードマップで、暴風雨、越水、内水氾濫等の情報を入手。（区役所の地域おこし推進課で入手可）

②避難先を決めていますか  
災害時の避難場所として、古市小学校、親戚、知人宅など、事前に決めると共に、同時に避難経路も確認。

③避難はタイミングが大切  
テレビ、ラジオなどの避難勧告等の情報を随時収集し、避難は明るい間に、夜間は垂直避難。

④飲料水、保存食の準備  
いつでも持ち出しできるように。

また、避難する時は隣近所に自助・共助で声かけ合ってください。

(T・k)

この基金の実施で、広島市が令和4年2月に策定した「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」の地域の実情に応じた新たな協力体制（広島型地域運営組織

令和3年度に各種団体が連携して実施する事業について、3年間で50万円交付される基金が、広島市社会福祉協議会から交付される制度が創設された。

当学区では、拠点施設である地区集会所に映像機器の購入とWi-Fi環境整備を行うことと、子ども達を対象にしたハロウィンワークショップを実施した。

映像機器の購入事業では、サロン等YouTubeによる動画配信を利用した活動を実施しており、新たにカラオケ同好会も発足した。

また「ハロウィンウォーク」を実施後に、あさマルシェ等地域住民のためのイベントが企画されはじめた。



昨年のハロウィンの様子

「ひろしまLMO」を、検討するきっかけになった。

当学区では、広島市社会福祉協議会「基金の継続」について、強くお願いしていたところである。

働きかけの結果、令和6年度に基金が再復活され、まちづくり委員で協議し、新たに子ども達のために、次の事業を計画・実施し、いずれの事業も一定の成果があった。

プールでござ走りや夏休み宿題やつつけ隊は、次年度は「古市地区をはくぐむ会」(LMO)で実施したいと考えている。



7月20日  
夏休みスペシャル  
プールでござ走り

水の上を忍者のように走ることができたら、楽しいだろうな。子どもの心が抜けない大人の思い付きで「プールでござ走り」を計画しました。

地域の皆様のご協力をいただき、約一五〇人の子どもたちと保護者の参加があり、古市小学校に笑顔と歓声が響き渡りました。



8月19日〜23日  
夏休み宿題やつつけ隊

今年の夏は暑く、外に出たくないぐらいでした。それならば、涼しい部屋に小生が集まって、夏休みの宿題を終わらせよう！というイベントを初開催しました。

先生役として、古市小の卒業生の大学生と高校生に協力いただき、なごやかに宿題をやつけました。



テレビが気功の講師



YouTubeが講師

ミーティングルーム  
古市の会議室設備改善  
(皆さんの活用を  
しやすさを目指して)

安佐南区社会福祉協議会の基金を活用して、新たに高機能テレビを設置しました。各種団体等による健康体操・健康管理情報などがユーチューブを活用して視聴可能となりました。

皆で活用・元気で長生き！

### 地域団体連携支援基金が復活される！

令和6年度 総会

令和5年度決算報告、令和6年度予算や令和5年度事業計画等について審議し、全会一致で承認されました。

主な概要は次のとおりです。

一 基本計画

① あなたとつくる、みんなで作る、支えあいのまちをモットーとし安佐南区で一番住みよい町を目指す。

② 誰もが安全・安心してこころ豊かに暮らせる地域づくりを推進し、住民及び町内会並びにその他各種団体が連携を図り、地域が最も必要としているものを把握して取り組むことに努める。

二 活動事業

① 福祉のまちづくり委員会の開催

各種団体と2か月毎に開催し、実践活動に結びつける。

② 救急医療情報キットの

継続整備  
病弱等で見守りが必要な世帯を対象に配布する。

③ ボランティアバンク活動の推進

活動要員の増員及び支援活動の担い手養成の強化等を図る。

④ 近隣ミニネットワークづくりの推進

一人暮らしの高齢者の方で見守りが必要な世帯等を対象に、福祉のまちづくり三事業（近隣ミニネットワークづくり、ふれあい・いきいきサロン、ボランティアバンク）及び各種団体が連携を図り取り組む課題と体制作りを行う。

⑤ ふれあい・いきいきサロン活動の推進

一人暮らしの高齢者の方を対象に、プログラムのマンネリ化等を防ぎ仲間づくり交流の場づくりのために気軽に立ち寄れる場所づくりに取り組む。

⑥ 広報活動の推進

各種団体の行事、情報等の提供を行い、関心を高め参加の促進を図ることを目的に広報紙のコミユニティ・カレンダー（毎月発行）・広報「古市」（年2回発行）を発行する。

⑦ 拠点活性化事業

拠点施設である社協事務所で社協役員による相談窓口を開設し、住民の困りごと等の解決に努める。

⑧ 住民主体型生活支援訪問サービス事業

活動要員の増員及び支

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
前年度繰越金	759,140	管理運営費	60,000
共同募金	5,000	広報活動費	90,000
社協助成金	510,470	地域ふれあい事業	45,000
協賛金	15,000	福祉のまちづくり総合推進事業	160,000
寄附金	0	学区取組活性化事業	65,000
雑収入	1,000	ボランティア活動事業	80,000
地域コミュニティ活性化補助金	0	学区社協ブロック連絡会推進事業	15,000
地域団体連携支援基金	0	研修会参加費	55,000
地区社協活動拠点活性化支援事業	186,000	事業負担金等	113,000
住民主体型生活支援訪問サービス事業	192,000	地域団体連携支援事業	0
		地区社協活動拠点活性化支援事業	186,000
		住民主体型生活支援訪問サービス事業	192,000
		雑費（赤い羽根街頭募金）	15,000
		予備費	592,610
合 計	1,668,610	合 計	1,668,610

収入の部		支出の部	
科 目	決算額	科 目	決算額
前年度繰越金	981,706	管理運営費	46,262
共同募金	5,000	広報活動費	58,041
社協助成金	510,470	地域ふれあい事業	35,000
協賛金	15,000	福祉のまちづくり総合推進事業	184,138
寄附金	0	ボランティア活動事業	241,095
雑収入	7	学区社協ブロック連絡会推進事業	10,560
地域コミュニティ活性化補助金	10,000	事業負担金等	138,000
地域団体連携支援基金	300,000	地域団体連携支援事業	350,847
地区社協活動拠点活性化支援事業	176,000	地区社協活動拠点活性化支援事業	162,000
住民主体型生活支援訪問サービス事業	232,000	住民主体型生活支援訪問サービス事業	232,000
		雑費	13,100
		次年度繰越	759,140
合 計	2,230,183	合 計	2,230,183

援活動の担い手養成の強化等を図る。

# 古市小学校開校150周年

古市小学校PTA会長 岡村和彦

明治8年（一八七五年）創立した古市小学校（当時 嚶鳴小学校）が本年度で創立一五〇周年を迎えます。一五〇年を振り返り、卒業生の方々、在校生の皆さん、先生方、日頃から子供たちを見守ってくださる地域の皆様方とどのようにお祝いをするべきかを考えて参りました。

地域の皆様方におかれましては、古市小学校区の各種イベントで、お祝いのお言葉をいただきますことに感謝申し上げます。皆様方のお知恵をお借りし、来年の2月10日～2月27日に古市公民館で記念展示会を、また、3月3日に古市小学校で記念式典を開催します。また記念品としてデザインマンホールの寄贈をさせていただくことになりました。マンホールのデザインは、現古市小学校の児童の皆さんに3種類の

デザインから選挙をしてもらい決選投票の末、左記のデザインに決定いたしました。

一五〇年の間に古市小学校に関わりを持った、児童、先生方、見守っていたいただいた保護者や地域の皆様方、そしてこれから古市小学校に入学する児童の皆さんすべての人に、その歴史を感じていただき、未来に紡いでもらえるきっかけとなるように信じております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

選ばれたマンホールのデザイン



第47回 中須盆踊り大会  
8月3日（土）18時～21時、緑道公園で中須町内会・小瀬自治会の主催で開催



8月3日

今年も平和学習実施

古市学区子ども会連合会



古市花火大会

古市小150周年だよ！  
全員集合く  
縁日も多くの方に集まっていたきました。



古市小150周年記念でナイアガラ

## 編集後記

先日、日本列島を襲った非常に強い台風10号。最大風速50メートル、最大瞬間風速70メートル、24時間雨量は多い所で600ミリ。速度も遅く同じ場所でも暴風や大雨が続き災害の危険性が高まる。線状降水帯と言う言葉も浸透してきたが、台風から離れた遠い地方に暖かく湿った空気が流れ込み遠隔豪雨が発生。宮崎では竜巻が複数発生し建物被害も深刻だ。台風に伴い、交通機関は止まり通勤や移動に支障が起こった。幸いにもわが町は台風による被害は少なかったが、いつでも避難できるように心がけておかなければと思った。「暑かった！記録的な夏」と題して中国新聞に掲載されていた。中区の7・8月の35℃以上の猛暑日が34日で過去最多。安芸太田町では39・5℃を記録。熱中症とみられる救急搬送も、県内では1・2倍のペースで推進している。（Y・M）